

笠岡市立北木中学校 平成30年度学力・学習状況調査改善プラン

具体的な改善の目標設定とその方策

何を (改善すべきこと)	どこまで (対象と達成目標の設定)	どのように (方策)
<p>【学力状況】</p> <p>○読解力と書く力の育成</p> <p>○既習事項の確実な定着</p>	<p>○定期考査や習熟度テスト等に含まれる資料の読み取りを基に記述する問題を増やし、取組期間の間に、それらの問題の正答率を向上させる。</p> <p>○論理展開が明確であるなど、生徒朝礼などの集会や短学活での生徒の発表の質を向上させる。</p> <p>○前年度までのものも含む既習事項を、朝学習や家庭学習プリント等で継続して取り上げ、その成果をテスト等で検証する。</p>	<p>○5教科を中心に、その教科の特質をふまえながら、長文や資料類の読み取りを基に記述したり、発表したりする活動を適切に行う。</p> <p>○授業中の活動や家庭学習課題として、新聞記事等の要約を課す。</p> <p>○朝の会や帰りの会で、興味をもった新聞記事の内容や感想を発表する機会を設ける。</p> <p>○生徒が新聞や本に親しむ機会を増やす。(図書室の新聞の活用推進、朝読書の時間の充実、保護者・家庭への協力依頼等)</p> <p>○学校だよりの原稿等を含む様々な作文作成の際に適切な指導・助言を行う。</p> <p>○朝学習や家庭学習で既習事項を含む学習プリント(入試対策用問題集等を含む)に取り組ませるとともに、定着が不十分な事項については、業間や放課後等を使って指導する。</p>
<p>【学習状況】</p> <p>○十分な家庭学習時間の確保</p> <p>○テレビ、ゲーム、SNS等を利用する時間の減少</p>	<p>○生徒全員が、本校のめやすの家庭学習時間(定期考査期間中は増加)程度の時間、家庭学習に取り組むようにする。</p> <p>○平日のテレビ、ゲーム、SNS等の平均利用時間が2時間以下になるようにする。(保護者の協力も得て、生徒が、午後9時以後にゲーム、スマートフォンを利用しないようにする。)</p>	<p>○学級活動の時間を利用して、家庭学習の取り組み方、家庭での時間の使い方を改めて指導する。</p> <p>○通常の時期も、家庭学習時間だけでなく、読書やテレビ等にあてる時間も把握し、必要な指導・助言を行う。</p> <p>○定期考査にあわせて設定している家庭学習強化週間中の学習計画は、特にていねいに指導する。</p> <p>○教科担任は、職員室の宿題連絡共有ボードを利用して、生徒が継続して適切な量の宿題に取り組めるようにする。</p> <p>○文書、懇談等様々な機会を利用して、保護者にテレビやゲームの時間のルールづくりなど必要な協力を求める。</p>